

# 社会的取り組みの状況

## 禁煙プロジェクト活動

### ●喫煙率低減を目指して

当社は全国喫煙率（19.9%）に比べ、喫煙率が高く33.7%（2015年4月時点）でした。そこで、2015年度は喫煙率低減のためのPJ活動を行いました。

#### 禁煙サポートし、38名が禁煙達成

喫煙者522名全員に禁煙教育を行いました。喫煙者に喫煙の害を改めて認識してもらい、教育後は禁煙チャレンジャーを集めました。禁煙補助剤購入の場合、会社が費用の一部を補助しました。途中リタイヤの人もいましたが、38名が禁煙達成することが出来ました。

#### 喫煙室の削減や建屋外喫煙室の推進

食堂や通路に隣接している喫煙室を撤去し、建屋外喫煙室を設置しました。

- 新潟内燃機工場の取り組み（煙が漏れている2箇所の喫煙室撤去）
- 太田工場の取り組み（建屋周囲にあった8ヶ所の屋外喫煙所を廃止、建屋から5m以上離れたところに雨避けの喫煙所を5ヶ所設置）
- ニコ精密機器の取り組み（食堂喫煙室の撤去、建屋外喫煙室を設置）

### 社内の喫煙マナーをルール化

喫煙者のマナー向上のため、全社統一した喫煙ルールを制定しました。就業時間内は、午前1回、午後1回、残業時間1回とし、健康に配慮した節度ある喫煙を推奨しています。

またモラルを守る喫煙マナーも定めています。

今後も禁煙啓発活動を推進し、健康でメリハリのある職場づくりを目指します。



ニコ精密機器の建屋外喫煙室

## 労働安全衛生の取り組み

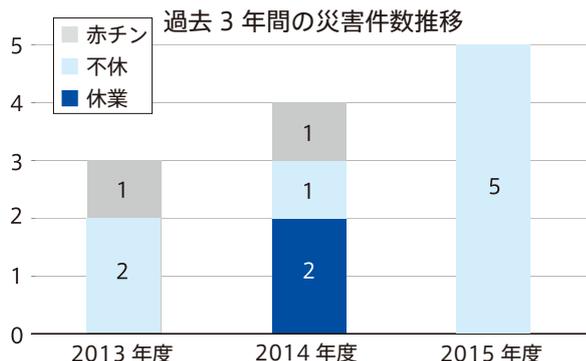
### ●リスク・災害のない職場実現のために

2015年度は、工場部門において5件の不休災害を発生させてしまいました。これらの災害は、リスクの洗い出しから漏れてリスクが残っている状態で災害が発生しており、他部門、他工場の目を入れたリスクの洗い出し活動を行い、歯止めをかけました。

2016年度は、「リスクの洗い出しの深化」と「自ら努力するための意識付け」として、“何故”を付加した教育、“考える”ことを付加した教育」を実践して

いき、リスクのない職場、災害がない職場を目指して取り組みます。

健康管理については、「全ては、健康からはじまる」のスローガンのもと、組織と個人の健康度向上による職場の活性化のためメンタルヘルス教育の実施と自己管理の推進を行います。また、組織と個人の健康リスク低減を図るため健康上のハイリスク者へのアプローチを強化していきます。



新潟原動機グループ 安全成績			
年度	2013	2014	2015
休業災害	0	2	0
不休災害	2	1	5
赤チン災害	1	1	0
合計	3	4	5



## ■安全衛生方針

労働安全衛生は、会社経営において最も重要、かつ基本的事項の一つであり、従業員の安全と健康を守ることは、人間尊重の理念に立脚した会社の社会的責務である。

この基本的考え方に基づき、職場における日常の安全衛生管理体制を一層強化し、特に管理監督者は常に危険に対する感受性を磨き、的確な安全指示をすることが必要である。

また、合わせて心身両面に亘る健康の保持増進のため、従業員一人ひとりが意識を高め、職場の安全は自ら守り、相互に指摘し合える風土を作ることで、全員参加のもと災害・疾病のない快適な職場環境作りを推進する。

1. 職場の潜在的な危険、有害要因を根本的に取除き、  
真のゼロ災害を目指すため、従業員、協力会社従業員全員参加のもと、  
継続的な安全衛生活動に取り組みます。
2. 労働安全衛生法をはじめ関係する法令を遵守するとともに、  
会社及び事業所で定めた安全衛生規程類に基づき、  
従業員の安全衛生を確保します。
3. 従業員の疲労軽減及び心の健康の保持増進を図ります。
4. 安全衛生委員会等の安全衛生パトロール、ヒヤリハット、気がかり提案、  
災害事例からきめ細かく分析した結果等に基づき達成目標を定め、  
この目標を達成するための方法や実施時期も合わせて、  
事業所の安全衛生計画を策定します。
5. 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の活動を推進し、  
リスクアセスメントによる「危険ゼロ」の職場を作ります。